

留学体験談

プログラム名	Program for Research Exchange Students between Toyohashi University of Technology and University of Stuttgart
奨学金	トビタテ！留学 JAPAN
氏名	川口 佑磨
専攻	電気・電子情報工学専攻
学年	修士 2 年
連絡先	yuma.kawaguchi1994@gmail.com
留学先	ドイツ・シュトゥットガルト大学
期間	1 年間（交換留学制度を利用したため休学なし） 2017 年 10 月（修士 1 年）～2018 年 9 月（修士 2 年）
総費用	160 万円（全額を奨学金より支出）
言語能力	ドイツ語：全く分からない（留学前）→初心者レベル（留学後） 英語 TOEIC : 790（留学前）→ 850（留学後）

【留学の目的】

① 研究

学部ではアメリカの大学との共同研究でメタマテリアルと呼ばれる技術に関する電磁界シミュレーションの計算を中心に研究を行っていました。今回の留学では、これまでの研究とは少し離れた半導体の研究室に所属し、修士論文の執筆に十分な結果を得ることを目的に留学しました。

② 世界規模のコミュニティの構築

世界で活躍したいという夢があり、日本国内だけでなく世界規模で繋がりを拡大したいと考えていました。多くの留学生が在籍するシュトゥットガルト大学で留学することで、様々な背景を持った人と触れ合い、繋がりをつくることを目的としました。

【活動の内容と成果】

① 研究

半導体材料を用いたマイクロスケールの構造の光学的シミュレーション解析を中心に複数のプロジェクトに関わりました。結果として、クロアチアでの国際学会に参加し、第一著者と第二著者でそれぞれ 1 報ずつ論文を投稿しました。

② コミュニティの拡大

国際交流グループに所属し週末はハイキングに行ったり、自ら企画して日本食パーティー

イを開いたりしました。また、スペインで開かれたサマースクールに参加し、同じ分野や専攻するヨーロッパ中の PhD の学生と関わりを持つことができました。

【留学を終えて】

VUCA と呼ばれる時代の中で、変化対応能力や挑戦する力は以前より社会に求められるようになってきました。まずは、できるかできないかではなく、やるかやらないかだと思います。

私は学部 3 年次に受けた TOEIC は 370 点で英語は苦手でした。しかし、本学に入学してから英語の勉強を始め、これまで多くの海外経験してきました。その中で、多くの人に会い、様々な価値観に触れ、自分の可能性を広げることができて人生は大きく変わったと思います。いまでもドイツの先生とは交流を続け、卒業後に再びシュトゥットガルト大学で研究をするために準備しています。是非、多くの人に留学を経験して、多くの発見をしてほしいと思います。



スペインでのサマースクール



オーストリアでのハイキング